

暗いポーランド人

ワルシャワ大学日本学科 4年生 キンガ・シェルシェノヴィッチ

皆さんは知らない人と話をする時、何について話しますか。「いい天気ですね」などのポジティブなことは、きっと言わないでしょう。逆に「バス遅いですね」「また雨ですね」などのような不満を言うのではないですか。年を取った人はかなりの確率で病気についての話をします。あるおばあさんが、「私は背中も関節も痛いよ。」と言うと、もう一人のおばあさんが「私も大きな手術をしたのよ。」と返します。おばあさんたちはこのように、病気の症状を懇切丁寧に解説してくれます。

このポーランド人の文句好きという傾向は実に目に付きます。外国人が描くポーランド人のイメージは不平家だそうです。なぜでしょうか。それは、ポーランド人は文句が大好きだからです。また文句の言い方もとても上手です。こぼし話の弁論大会があったら、ポーランド人はかならず優勝するでしょう。ある記者がポーランドの国籍を取得したアフリカ人のサッカー選手に「あなたはいつ本当にポーランド人になったと思いますか」と聞いたところ、その選手は「よく文句を言い始めた時だ」と答えたそうです。これは面白い話ですが、本当ならとても恥ずかしいことです。

このような態度は非常に良くないです。世界の悪い点だけに目を止めると、すべてが暗く見えてしまいます。だからこの態度はぜひ変えるべきです！

といっても、実は私も時々文句を言います。私のルームメートは非常に汚い女性で、全然掃除をしないので、私は彼女に文句を言います。でも彼女は私の言うことを聞きません。以前はこの態度にいらっと来ましたが、今は冷静になりました。どうしようもない時にぶつぶつ言っても、事態は変わらないということに気付いたからです。ちなみに、友達に掃除をさせる方法を知っている人は、後で私に教えてください。

文句を言う代わりに、私はお店である実験をしてみました。皆さんご存知の通り、店員はたいていムツリしたまま黙って客の対応をします。そこで私は毎日同じ店で同じ店員に、「今日は」とか「ありがとう」とか挨拶をし続けたのです。最初その店員は何の返事もしなかったのですが、二週間ほど経って、だんだん態度を変え、しまいにはニコッと微笑むようになったのです。これは自分の態度が他人の態度に影響を及ぼすという証拠です。

さあ皆さん、悪いポーランド人のイメージを一緒に直してみませんか。文句のランキングを作る代わりに、物事を明るく考えてみましょう。悲観的な態度をとっても、何も始まりません。考え方を少し変えるだけで自分の生活を楽しくすることができます。皆さん、私のスピーチが終わった瞬間から、文句を言うのはやめてください。そして、ポーランド、ひいては世界中をもっと明るくしましょう。